

curic chloride on nervous tissue in culture. Toxicol. Lett. 7: 87-93, 1980.

5) Yamamura K. Aoshima K. Hiramatsu S. Hikichi T. and Hiramatsu S.: An investigation of the effects of impulse noise exposure on man—Impulse noise with a relatively low peak level. Eur. J. Appl. Physiol. 43: 135-142, 1980.

6) Yamamura K. and Aoshima K.: An investigation of biological response induced by intermittent noise (Trapezoidal noise). Eur. J. Appl. Physiol. 44: 9-16, 1980.

7) 寺西秀豊, 右田俊介: ASLO活性を示したIg A myeloma 蛋白, 日本血液学会雑誌 43: 842-849, 1980.

8) 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 橋本竹二郎, 河野昭一, 狐塚 寛: 大気環境の評価に関する Microgeographical Study (I)—集落レベルでのスギの活力および大気汚染度の検討—北陸公衛誌 7: 25-35, 1980.

9) 寺西秀豊, 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 成瀬優知, 山田裕一, 野原聖一, 岡田 晃: 抗原性帰化植物の花粉アレルゲンとその人体影響(第5報) ブタクサ花粉, ヨモギ花粉およびセイタカアワダチソウ花粉間の共通抗原性の検討, 北陸公衛誌 7: 44-48, 1980.

10) 鏡森定信, 加藤輝隆, 河野昭一, 水野徳美, 岡田 晃, 渡辺正男: 大気環境の評価に関する Microgeographical Study (II)—赤外カラー航空写真による植物活力と人の呼吸器症状—北陸公衛誌 7: 35-43, 1980.

#### ◆ その他

1) 加須屋 実: 予防医学と薬, 家庭薬新聞, 第1282号, 1980.

2) 加須屋 実: 高齢化社会の医療問題, とやま県医報, 797号, 4-7, 1980.

3) 保健医学教室, 公衆衛生学教室編: 昭和55年度, 社会医学実習報告書, 第1集, 昭和55年8月.

#### ◆ 学会報告

1) 青島恵子, 加須屋 実: カドミウムとセレンの培養ラット大脳組織における相互作用, 第50回日本衛生学会総会, 1980. 4, 大阪.

2) 加須屋 実, 寺西秀豊: オフィス気中の塩化ビニル・モノマー, 第23回日本産業衛生学会北陸甲信越地方総会, 1980. 10, 福井.

3) 寺西秀豊, 加須屋 実, 青島恵子, 加藤輝隆: ナシ人工授粉作業者にみられた花粉症について, 第23回日本産業衛生学会北陸甲信越地方総会, 1980.

10, 福井.

4) 寺西秀豊, 加須屋 実, 加藤輝隆, 鏡森定信, 野原聖一, 水野徳美, 岡田 晃, 西 正美: 学童のブタクサ花粉症に関する疫学的研究—5年間の観察—, 第39回日本公衆衛生学会総会, 1980. 10, 千葉.

5) 青島恵子, 加須屋 実: カドミウムと亜鉛の培養ラット小脳における相互作用, 第39回日本公衆衛生学会総会, 1980. 10, 千葉.

6) 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 狐塚 寛, 橋本竹二郎, 河野昭一: 指標植物を用いた低濃度大気汚染地域の環境評価—スギの活力低下と学童の呼吸器症状有症率について—, 第7回環境汚染物質とそのトキシコロジーシンポジウム, 1980. 11, 神戸.

7) 青島恵子, 浅田礼子, 大田良子, 窪田博道, 窪田裕子: 勤労婦人の妊娠・出産について, 第8回北陸公衆衛生学会, 1980. 11, 富山.

8) 寺西秀豊, 山本広志: 空中花粉の検索—医薬大屋上の落下花粉—, 第2回富山アレルギー研究会, 1980. 11, 富山.

## 法 医 学

教 授 大 谷 勲  
助 手 籠 谷 秀 翁  
教 務 員 中 村 功

#### ◆ 著 書

1) 大谷 勲: 窒息, 総論および各論, 97-125, 血液型, 209-242, 親子鑑定, 258-274, 学生のための法医学, 城 哲男他共同執筆, 南山堂, 1980.

◆ 原 著 (第3輯記載洩れを含む)

1) Sawada H., Yokoi T., Asano S., Komoriya H. and Ohya I.: Analysis of the process of cell degradation induced by Triton X-100 in Ehrlich ascites tumor cells. The Journal of Toxicological Sciences 4: 327-340, 1979.

2) 大谷 勲, 中園一郎, 須山弘文: 頭髪付着血液の経時変化, 犯罪学雑誌 45: 165-171, 1979.

3) Ohya I., Fukae T. and Suyama H.: Differences in susceptibility to alkali denaturation of various human hemoglobin components. Act. Crim. Japon. 45: 172-176, 1979.

4) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 今井忠之, 須山弘文: 神経組織および血液からの酵素型判定に及ぼす熱および腐敗の影響, 犯罪学雑誌 46: 147-156, 1980.

5) 松田健史, 森沢佐蔵, 大谷 勲, 籠谷秀翁: 一見古代人骨を観を呈する白骨の鑑定例, 法医学の実

際と研究 23: 81-98, 1980.

6) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 山口弘信: 外陰部を欠損した男性の2剖検例, 法医学の実際と研究 23: 111-116, 1980.

◆ 学会報告

1) 大谷 勲: 舌骨, 甲状軟骨および軸椎に骨折を伴った縊頸失敗(?)屍例に認めた頸動脈内膜裂傷および解離性動脈瘤の1例, 第64次日本法医学会総会, 1980. 4, 長崎.

2) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲: ヒト精漿中の酸性ホスファターゼ2分画の精製とその性状について, 第64次日本法医学会総会, 1980. 4, 長崎.

3) 大谷 勲: シンポジウム: ヒトヘモグロビンを指標とする人・獣血鑑別—ヒト HbAo およびヒト HbFo の免疫血清について, 第64次日本法医学会総会, 1980. 4, 長崎.

4) 大谷 勲, 松田健史: 一見, 古代人骨を観を呈した白骨の鑑定例, 法医学談話会第56回例会, 1980. 6, 福島.

5) 大谷 勲, 中村 功: 富山地方住民におけるハプトグロビン型分布について, 第25回中部鑑明会総会, 1980. 10, 名古屋.

6) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功: 溺死体の頭部にみられた生前のスクリー創の1例, 第27回日本法医学会近畿地方会, 1980. 10, 大津.

7) 大谷 勲: 共通演題「検屍に関する制度上の諸問題」- 5, 富山県における検屍の現状について, 第27回日本法医学会近畿地方会, 1980. 10, 大津.

8) 大谷 勲, 籠谷秀翁: 氏名, 撮影日時の異なる同一部位X線フィルムの個人識別例, 法医学談話会第57回例会, 1980. 10, 雫石.

9) 大谷 勲, 籠谷秀翁: 頭蓋骨骨折縁に成傷器由来の色素の付着, 残存を認めた2剖検例, 第30回日本法医学会九州地方会, 1980. 10, 北九州.

10) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲: ネコ血清のヒト赤血球凝集性について, 第2回日本法医学会中部地方会, 1980. 11, 名古屋.

# 内 科 学 (1)

教 授	矢 野 三 郎
助 教	浅 沼 克 次
講 師	伊 藤 正 己
講 師	中 尾 皖 英
助 手	加 藤 弘 巳
助 手	藤 井 隆 彦
助 手	鈴 木 英 彦
助 手	杉 森 正 克

◆ 著 書

1) 矢野三郎: 肥満症, 426-427, 今日の治療指針, 石山俊次他編, 医学書院, 1980.

◆ 原 著

1) Morimoto Y., Oishi T., Hanasaki N., Miyatake A., Sato B., Noma K., Kato H., Yano S. and Yamamura Y.: Interrelations among amenorrhea, serum gonadotropins and body weight in anorexia nervosa. *Endocrinol. Jpn.* 27: 191-200, 1980.

2) 加藤弘巳, 長谷部直子, 鈴木英彦, 藤井 隆, 浅沼克次, 矢野三郎, 金丸哲宏, 北川常廣: 酵素免疫測定法によるゲンタマイシンの測定—血中濃度測定とその臨床利用, 臨床化学シンポジウム 19: 193-194, 1980.

3) 北本 治他, 矢野三郎, 加藤弘巳: 呼吸器感染症に対する Cefotaxime と Cefazolin の薬効比較試験, 感染症学雑誌 54: 471-517, 1980.

4) 中野直子, 加藤弘巳, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法 (第1報) —グリチルレチン酸の酵素免疫測定法, 薬理と治療 8: 4167-4170, 1980.

5) 中野直子, 加藤弘巳, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法 (第2報) —血中グリチルレチン酸, グリチルリチンの測定, 薬理と治療 8: 4171-4173, 1980.

6) Ito M., Ralph P., Moore M.A.S.: Suppression of spleen natural killing activity induced by BCG. *Clin. Immunol. Immunopathol* 16: 30-38, 1980.

7) Ralph P., Williams N., Nakoinz I., Jackson H., Ito M., Azuma I. and Yamamura Y.: Enhancement of macrophage cytotoxicity to tumors and production of megakaryocyte-